

■藤田たき 教育家、婦人運動家。国際的視野から日本女性地位向上に尽力した。

ふじたたき
子規句歌革新1898＝ 名古屋市中で、裁判官藤田菊江の長女に生まれる。
Bushidou・・1899＝ 1歳：幼時洗礼を受ける。

母はクリスチャンで進取の気性に富み、たきが雑巾を縫っていたりすると、そんなことより勉強をするようにと怒られたという。

日露戦争終・1905＝ 7歳：

韓国反日暴動1907＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝14歳：富山県高等女学校，
旅順高等女学校，

民本主義・・1916＝18歳：大阪の私立金蘭会高等女学校を経て，
女子英学塾に入学

大暴落・・・1920＝22歳：卒業し，アメリカに留学，
原敬首相暗殺1921＝23歳：

治安維持法・1925＝27歳：米国プリンマー大学を卒業して帰国し，女子英学塾教授になる。

共産党事件・1928＝30歳：*第1回汎太平洋婦人会議に，ガントレット恒子・吉岡弥生・井上秀子・市川房枝らとともに，代表として最年少で出席。そこでの市川房枝との運命的な出会いにより，婦人参政権運動に参加。
世界恐慌・・1929＝31歳：婦選獲得同盟の中央委員などをつとめる。
満州事変・・1931＝33歳：

帝人疑獄事件1934＝36歳：
芥川直木賞始1935＝37歳：教育事情・婦人有権者同盟の活動研究のため欧米に出張し，
二二六事件・1936＝38歳：帰国。
日中戦争始・1937＝39歳：

大政翼賛会・1940＝42歳：婦選獲得同盟が解散となる。
日米開戦・・1941＝43歳：

創価学会検挙1943＝45歳：

敗戦・・・・1945＝47歳：

新憲法施行・1947＝49歳：*新日本婦人同盟会長となり，
極東裁判決・1948＝50歳：女子英学塾の大学化により，津田塾大学教授，
三大事件・・1949＝51歳：再び，教育事情・婦人有権者同盟の活動研究のため，アメリカに出張後，
朝鮮戦争始・1950＝52歳：_辞任。
独立回復・・1951＝53歳：_労働省婦人少年局長に就任。
マーデー事件・1952＝54歳：

婦人ではあっても母親ではないから少年の気持はわからないと局長就任に難色を示す動きや，行政整理のため婦人少年局を廃止せよという動きを，在野の婦人団体などの支援運動を得て抑え，その基礎を固めて，
55年体制始・1955＝57歳：_退任。婦人問題研究所長に就任，
_国連総会に3度政府代表として出席。

安保闘争・・1960＝62歳：
タイタイ病始・1961＝63歳：
全国総合計画1962＝64歳：_退任し，津田塾大学学長に就任。

大学院および国際関係学科設置など学内の充実に数々の貢献をした。その一方，国連婦人の地位委員会，汎太平洋東南アジア婦人会議に数度にわたり政府代表として出席，忙しい学長だった。

大阪万博・・1970＝72歳：
トルショック・・1971＝73歳：_交通事故で重傷を負い，リハビリを含め9か月の病院生活を余儀なくされ，

石油ショック1973＝75歳：_学長も退任するが，

クランプール事件1975＝77歳：*メキシコでの国際婦人年世界会議の日本代表団首席代表に選ばれ，杖をついて出席，第一線に復帰した。
大学婦人協会初代会長・日本婦人有権者同盟会長・労働省婦人少年問題審議会会長・婦人問題企画推進会議座長の要職をこなす。一貫して国際的視野にたって日本女性の地位向上のための教育・行政・女性運動の各分野で重責をはたしつづけてきた。

革新大敗北・1979＝81歳：自伝に「わが道-こころの出会い」がある。_最後のビッグイベントは，男女雇用機会均等法で

中曽根内閣・1982＝84歳：名誉都民。
ジャンボ機墜落1985＝87歳：_6年にわたり59回に及ぶ審議会開催の結果，法案が成立した。

リクルート事件・1988＝90歳：*公職を離れ，
昭和天皇死・1989＝91歳：以後，「東中野日記」を毎年刊行。
55年体制終・1993＝95歳：クエーカー教徒で生涯独身を通し，_没した。
「日本の女性」，